吉野直行『社会と銀行』放送大学教育振興会、2010年

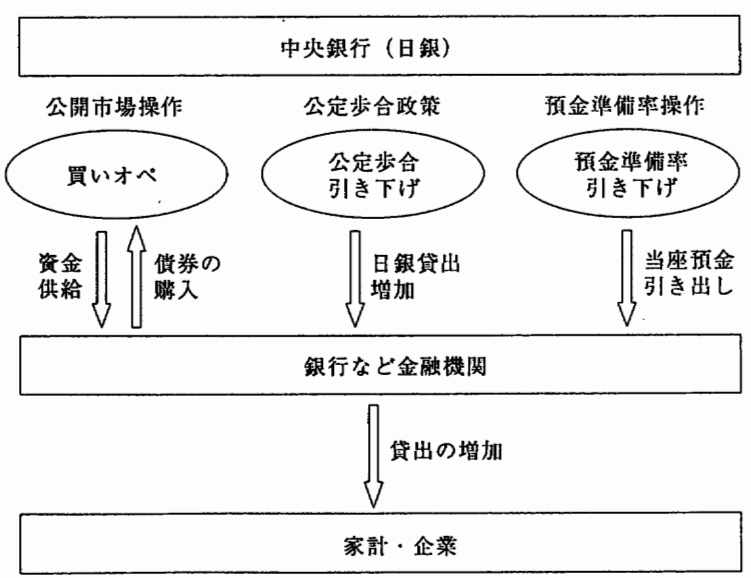
ことが制度化されている。

3. 金融政策

各国の中央銀行は，その政策目標の実現のため，様々な政策手段を用いて，金融政策を実施している。金融政策では，景気が過熱して物価が上昇している場合には金融引き締め政策が，また景気が低迷して物価が下落している場合には金融緩和政策が行われる。図表8-1は，金融緩和政策の概要を示したものである。以下では，金融政策に関する代表的な三つの政策手段を順を追って説明する。

(1) 公開市場操作

「公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）」は，中央銀行が金融機関と債券を売買することによって世の中に出回っている貨幣供給量に影響を与える政策である。中央銀行の資産の中で，国債など



図表8-1　三つの金融政策の手段：金融緩和政策のケース

の債券は，最も大きなウエイトを占める項目である。中央銀行は，公開市場操作によってその資産項目の中の債券保有量を増減させ，貨幣供給量を増減させることができる。今日では公開市場操作を通じた債券の売買は中央銀行の最も重要な政策手段となっている。

公開市場操作は，大きく分けると，中央銀行が債券を購入することによって金融を緩和し，貨幣供給量を増加させる「買いオペレーション」(略して，「買いオペ」と呼ばれる）と，債券を売却することによって金融を引き締め，貨幣供給量を減少させる「売りオペレーション」(略して，「売りオペ」と呼ばれる）がある。

(2) 公定歩合政策

中央銀行が銀行など金融機関向けに貸出を行う際の利子率は，「公定歩合」と呼ばれている。具体的には，銀行が保有する商業手形を中央銀行が割り引く際の割引率や，それらを担保とする貸付利子率が公定歩合となる。「公定歩合政策」とは，中央銀行がこの公定歩合を変更させることによってその貸出金を増減させ，その結果として貨幣供給量に影響を与える政策である。

例えば，中央銀行が公定歩合を引き下げれば，銀行など金融機関は今までより安い借り入れコストで資金を中央銀行から借り入れることができる。したがって，公定歩合が引き下げられた場合，金融機関はより多くの資金を中央銀行から借り入れることになり，その結果，貨幣供給量は増加する（金融緩和政策)。逆に，公定歩合を引き上げれば，金融機関にとって中央銀行からの借り入れコストは上昇する。このため今度は，民間銀行の中央銀行からの借り入れは減少し，その結果，貨幣供給量は減少する（金融引き締め政策)。

(3) 預金準備率操作 へと続く